

2002.4.10

現代日本論講読 I

論文作成の基礎

東北大学文学部 2002 年度

田中 重人 (講師)

【目的】

論文の書きかたを習得

- 構造 (4/17～5/1)
- 文章 (5/8～6/5)
- 文献参照 (6/19～7/3)
- 執筆プロセス (7/10～7/17)

【教科書】

木下 是雄 (1981)『理科系の作文技術』(中公新書) 中央公論社。

★授業中の課題で使うので
かならず購入のこと

【授業の形式】

- ★ 講義＋実習（＋宿題）
- ★ 2つのレポート
- ★ 毎回の実習課題・宿題、中間・
期末レポートで成績評定
- ★ 授業予定は配布資料参照

【理科系の文章】

- ★ データに基づいた推論
- ★ 論理構造
- ★ 必要十分な記述
- ★ 盗用厳禁
- ★ 通常文の比重がちいさい
(図表・数式・構造が重要)

【なんの役に立つのか】

- 大学での研究（レポート、卒論など）
 - ← 必要なルールと様式を学ぶ
- 説得の技法
 - ← データと論理で自分の主張をバックアップ
- 思考のエンジン
 - ← 情報とアイデアの整理

【参考文献】

木下 (1981) に欠けているもの :

- ★ 入門者向け情報
- ★ 文科系の作法
- ★ ワードプロによる執筆プロセス
- ★ 研究の糸口

二通 信子 + 佐藤 不二子 (2000)『留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク。

斉藤 孝 (1988)『増補 学術論文の技法』日本エディタースクール出版部。

Gibaldi, Joseph; 訳=原田 敬一 (1998)『MLA 英語論文の手引き』(第4版) 北星堂書店。

木村 泉 (1993)『ワープロ作文技術』岩波書店。

斉山 弥生 + 沖田 弓子 (1996)『研究発表の方法』凡人社。

その他、国語辞典、類語辞典など

パソコンを使える環境を確保して
おくことがのぞましい

- ★ 論文執筆にワープロは必須
- ★ 当授業のレポートは自筆不可
- ★ 大量の文章と図表をあつかえるものをえらぶ